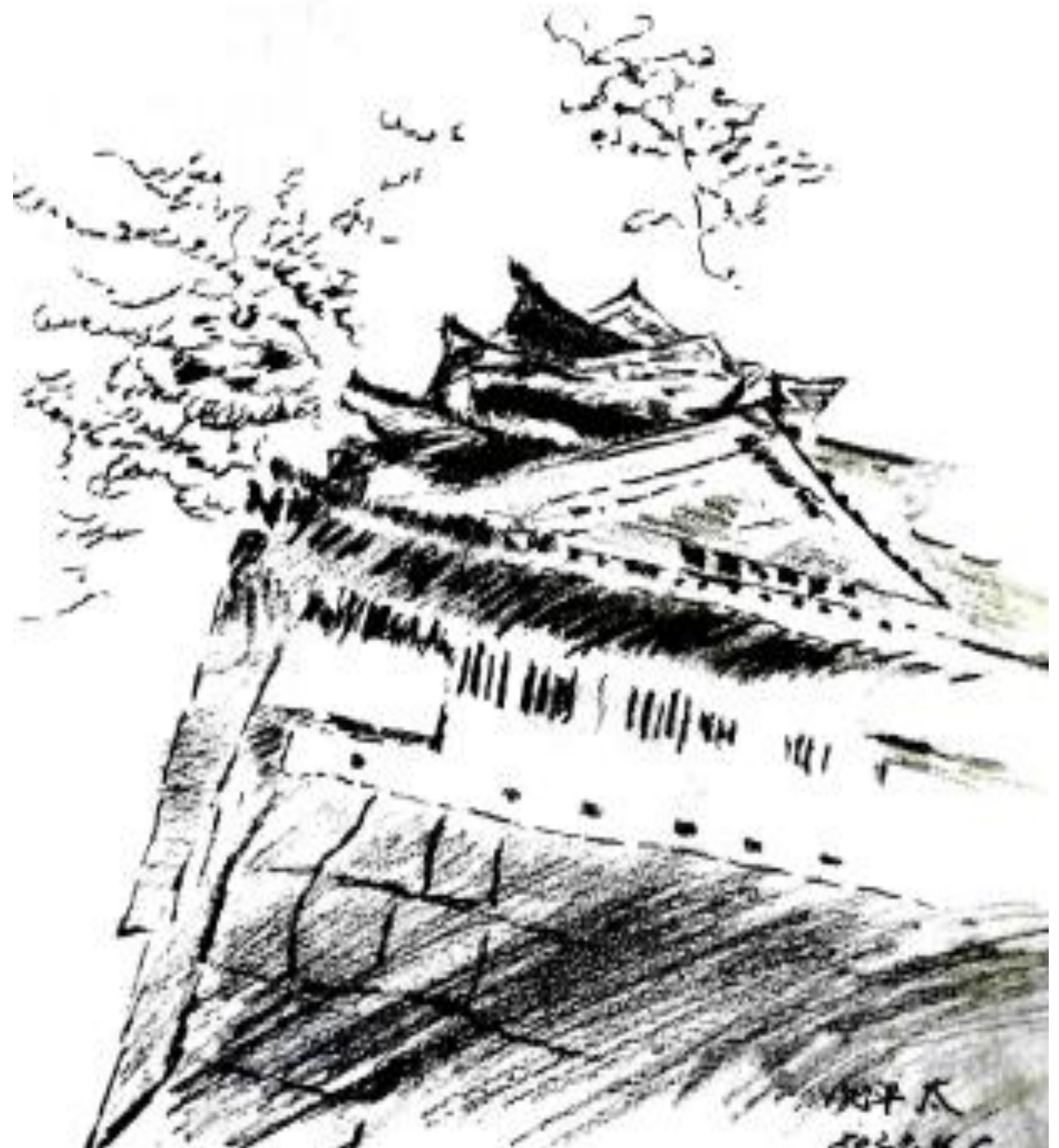


# 閣守天柳川

2023年10月号



# 第7回例会 2023年10月15日(日)

## 投句締切分

### お題 「眺める」

真鍋心平太 選

弾丸の穴より眺める楽園

平川柳

眺めいいノースリーブはおしまいで

岩原一角

眺めても切れ目が見えぬ視力表

勘兵衛

隙間から夕陽眺める都市砂漠

山野寿之

月うさぎ青い地球を眺めてる

平川柳

氷山の身投げを嘆く鳥瞰図

島根写太

陸橋のじじいに夕日慈愛の目

武智三成

口きかずスマホ眺めているデート

波部珀兎

(五客)

佳5 古代人星を眺めてサソリを見

加山勝久

佳4 手鏡は心の花を眺めてる

船木しげ子

佳3 展望の先は宇宙の無限大

井澤壽峰

佳2 汚染水月から眺めりゃ綺麗かも

青鬼堂一字

佳1 眺めたりウトウトすると名古屋着

信子

(三才)

人 月からも貴方見ていたかぐやです

江崎紫峰

地 喫茶店道行く人をただ眺め

加山勝久

天 困ったらフェルメールの眼じつと見る 武智三成

軸 ジャニー氏が眺めています 記者会見 真鍋心平太

(選評)

人の句

かぐや姫もうさぎも月には居ないことは百も承知で

こういうロマンを詠えるのが川柳である。

地の句

喫茶店の窓から道行く人をただ眺めている時間というのが

確かにあったことが懐かしい。

その大切さがしみじみ分かる今日この頃。

天の句

これは有名な「真珠の耳飾りの少女」の眼である。

確かに困って立ち止まったときあの眼を見ると、

「ここまでいらっしやい」と言われているようで、

もう一歩が踏み出せるような気がする。

# お題 「イコール」

互選

1点

八月のチビと太つちよはイコールか  
同じように重い人間の目方

処理水で汚染水とイコールね

隔てなく愛されていたジュニアたち

イコールを超えたらプラスえんかな

父母の遺伝子イコールじゃない美少年

上司から同期は同じ扱いに

2点

イコールが答引き出す電子辞書

嫁さんとイコールパートナー夢の夢

戦争は男 平和は女です

遠くから同じ時間に同じ月

3点

幾星霜等しい愛は壊れない

トリチウム薄め水爆にイコール

奥の手に二枚の舌がイコールに

今日もまた凹に凸埋め金婚譜

御仏の色即是空という教え

ワンマンに口を挟まぬイエスマン

青鬼堂一字

春田敏晴

岩原一角

春田敏晴

ルイ

波部珀兎

信子

井澤壽峰

加山勝久

平川柳

江崎紫峰

久世高鷲

岩原一角

船木しげ子

島根写太

真鍋心平太

島根写太

4点 夜明け前土農工商イコールに

姉妹でもイコールじゃない偏差値も

5点 温暖化みんなイコールなんですよ

君と僕いつも見ている同じ夢

国により処理水≠汚染水

桃園の誓い時代が変わっても

7点 イコールにならぬロシアとウクライナ

勝ち負けもどつちでもいいと思う歳

8点 平等に与えてくれぬ神の慈悲

9点 五等分文句言わせぬ母の愛

真鍋心平太

信子

武智三成

江崎紫峰

平川柳

小林満寿夫

加山勝久

井澤壽峰

ルイ

山野寿之

山野寿之

得点があるものをすべて点数順に掲載しています。

得点が空白のものは前行の句と同得点です。

今月の投句者（18名）

久世高鷲

加山勝久

岩原一角

春田敏晴

江崎紫峰

勘兵衛

井澤壽峰

波部珀兎

島根写太

武智三成

舟木しげ子

信子

山野寿之

平川柳

ルイ

真鍋心平太

青鬼堂一字

来月は今月よりも1名でも多く、当面は30名を目標にしています。  
ご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

## ぶらんどい

真鍋心平太

孫たちと公園に行き、ぶらんどで遊んだ。

孫たちが乗っているのを見て、自分も乗りたくなり、「じいちゃんも乗ってみようか」と若い日の実感を思い出そうとしたら、お嫁さんや子供たちが「じいちゃんは危ないから」と必死で止められた。

子供立ちと一緒にだからこそ公園の木を飛び越えて流れる雲にも追いつける。自分の人生にも「勇気」というものがあつたのに、どこではぐれたのか今はこのあたりを一周歩くだけが勇気だ。

幼い孫たちと75歳の自分とは同時に生きている。孫たちがいることで自分にもまだ出来ることがあることを教えられる。子供たちがぶらんどをこぐのを見ながら遠い記憶をたぐってみる。

孫たちを自分がこうして育むのと同じように自分を抱いて遊んでくれた人たちがあつた。その人たちの夢をみることも少なくなつた。水にもうつらない梯を教えてくれる人たちはもう居ないのだ。自分がまだ子供で父が居て、母が居て、兄弟が居て祖父も居て、そのときを同時に生きていたのに。

こんな時間を一緒に過ごせたことを子供たちもいつか同じように思い出すときが来るのだろうか。こういう繰り返しが生きるということなのだということが胸に沁みてきた時間だつた。

ということと今月の巻末は黒澤明の映画「生きる」のシーンより。絵をご覧いただき「ゴンドラの唄」が聴こえてくれば幸いである。

# 第7回 ウェブ川柳天守閣 ご案内

お題 「賞」 真鍋心平太 選  
「団子」 互選  
(投句 各 2 句)

投句開始 2023年10月9日(月) から  
投句締切 2023年10月15日(日) まで

互選投票 投句締切後下記の期間内に投票して下さい。  
10月16日(月) ~10月19日(木)

披講発表 10月20日(金) から随時閲覧可能になります。

左記の投句、互選投票、結果発表の閲覧は  
下記 URL から可能です。

[http://excellan.kir.jp/ten\\_reikai/web\\_siyu\\_menu.php](http://excellan.kir.jp/ten_reikai/web_siyu_menu.php)

投句、互選投票は会員登録が必要です。

会員登録は下記 URL より

[http://excellan.kir.jp/ten\\_reikai/id\\_make.php](http://excellan.kir.jp/ten_reikai/id_make.php)

スマホは下記 QR コードから



投句・閲覧



会員登録



鉛筆画 心平太

(クリックすると大きくなります。)

二〇二三年九月二十五日発行

ウェブ川柳天守閣会報

(発行責任者 真鍋心平太)

(編集人 真鍋心平太)

(事務所)

〒 520-0054

滋賀県大津市逢坂一丁目8-1

サンルシエル大津607号室

川柳天守閣

Tel・fax 077(532)4211

携帯 080(2672)4446